

# 発表①



## 「モンゴル語日本語色彩表現比較」

S. DOLGOR、  
TS. DELGEREKHTSETSEG、P. ENKHJARGAL  
モンゴル国立大学

モンゴル語日本語色彩表現  
比較研究  
—シロを中心として—

日本語教育シンポジウム2016年3月12日  
S.ドルゴル (モンゴル国立大学)  
Ts.デルゲルフツェツェグ (モンゴル国立大学)  
P.エンフジャルガル (モンゴル国立大学)

1

発表内容

- 色彩表現とは。。。
- 色彩表現に関する先行研究
- モンゴル語及び日本語におけるシロの意味
- モンゴル語及び日本語におけるシロの象徴
- モンゴル語及び日本語におけるシロの言語文化的意味
- モンゴル語及び日本語における色彩表現に関する認知的・言語文化的比較
- まとめ

2

背景と目的

- 昔から人間は生活環境の中である色彩の感化を受けてきた。
- 色彩と人間の日常的なつながりを知るにはそれぞれの色に人間が与えた呼び名、つまり色名が手がかりになる。
- 色彩に関する知識や技術の進歩発展に伴い、色彩表現は多種多様になっていると言われている。
- 色名にはその色に対する社会的需要、色材の製造や着色の技術、使用方法だけでなくその色の連想、象徴などの文化的及び認知的背景に関する事実が含まれている。
- モンゴル語及び日本語における色彩表現を考察し、その背景にあるモンゴル人及びモンゴル人の色彩認知・文化的要素を探ることである。

3



4

### 色彩と色彩語彙

- 物理学  
1704年イギリスの物理学者アイザック・ニュートン  
色彩とは、「もともと色がない」光線の屈折によって現れる。
- Sapir-Whorf仮説  
当該の文化において日常的に使用される言語が人の認知や思考に影響を与える。色彩語彙とその認識に関する研究
- 認知言語学
- Berlin and Kay (1969)バーリン、ケイの研究

5

### 色名の進化法則

I    II    III    IV    V    VI    VII

Berlin and Kay's hypothesis about seven evolutionary stages of colour terms (1969:4).

6

### 先行研究

<p>日本語色彩表現に関するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 武井邦彦 (1978)</li> <li>○ 吉岡常雄 (1983)</li> <li>○ 福田邦夫 (2001)</li> <li>○ 西王燦 (2009)</li> </ul>	<p>モンゴル語色彩表現に関するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ Цэвэл Я. (1959)</li> <li>○ Цэдэв Д. (2002)</li> <li>○ Дулам С. (2007)</li> <li>○ Элдэв-Очир Г. (2009)</li> </ul>
--	--

7

### シロの意味

<p>モンゴル語国語辞典 (2011)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 黒に対する色。雪のような色</li> <li>2. 平坦な、岩石などの少ない、通りやすい場所</li> <li>3. きれいな、清らかな、純粋な、善良な(心)</li> <li>4. 千支の七番目の色</li> <li>5. 陰曆の一月</li> <li>6. 肉の入っていない食べ物。</li> </ol>	<p>『広辞苑』 (1981)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 太陽の光線をあらゆる波長にわたって一様に反対することによって見える色。雪のような色。万一七「降る雪の一髪までに</li> <li>2. 困窘で白石の略。また、白石を持つ方。手後(てご)。</li> <li>3. 犯罪容疑者が晴れること。またその状態。転じて無罪。潔白。*黒。</li> <li>4. 「しろがね(銀)」の略、梅麴「一の喜世留の重たきやつを」</li> </ol>
--	---

8

### モンゴル語のシロの象徴性

S.Dulam (2007)

「モンゴルの伝統的な自然信仰、哲学によれば色象徴の最初の対立は**明るみ及び暗がり**に由来する白と黒である。

**白**は太陽の光、昼の合図として表現され、古代人の自然信仰、思想より自然に生じ(起り)そしてそれが従来誰かに隠す必要のない、明らかなものであると同時に、**清らかで善良**なものの比喩となり意味が拡張している。」

9

### 日本語のシロの象徴性

西王燦 (2009)

「染まって行く過程のなかに象徴行為があったということは、逆に言えば、万葉集のなかには「白」がもっとも多いということでもある。五句目までに「白」の登場する作品を数えてみると、二百四十七首ある。白袴(しらたえ)、白珠(しらたま)、白雲、白雪、白鷺(しらさぎ)、白鳥、白鶴(しらつる)、白波(しらなみ)、白露(しらつゆ)、白髪(しらが)、白氣結(霧ぞ結べる)----。私たちが古歌について思い描くほとんどすべての「白」の素材が出そろっていると書いてもいい。」

10

## 日本語のシロの象徴性

テキストを入力

- 八重山 (沖縄)
- シロマタ (白=男)
- アカマタ (赤=女)
- クロマタ (黒=親)

テキストを入力

- 古事記
- 赤玉 (琥珀=山幸)
- 白玉 (真珠=海幸)

男 白 (精液) 聖  
女 赤 (月経) 俗

11

## 陰陽五行説

世界の成り立ちに関する  
「金の亀」の伝説

色	物質	方位	季節
青	木	東	春
赤	火	南	夏
黄	土	中央	
白	金	西	秋
黒	水	北	冬

12



13

## モンゴル語シロの文化的意味

モンゴル語

- 純粋
- 清らか
- 豊富
- 貴族
- 権力
- 乳製品
- 春の行事
- 反革命派

日本語

- 汚れない→ 純潔、純粋、清浄、素朴、潔白、神聖
- 明白→「清浄」
- 汚れない存在である神の色。

14

## シロのシンボル性

モンゴル語

- 昼+夜
- 白+黒

日本語

- 赤は明るくなる
- 黒は暗くなる
- 白は「著しい」
- 青「漠」

明暗

→

明暗

→

顕漢

→

15

## 明暗

- シロは両言語において明るみの象徴であり、それは本来人間がある物事を認知する際に、自分の経験に基づくことと結ばれる。

16

### まとめ

- モンゴル語・日本語におけるシロは色を表現するという点では共通しているが、モンゴル語の方が基本意味以外の意味・語用も多く見られる。
- モンゴル語のシロはシンボル性が豊富な表現を多数形成し、それはモンゴル人の思想及び遊牧生活様式によるものだとしても過言ではない。
- 色彩表現は単なる色を弁別するための記号だけでなく、シンボル性、文化要素に富んだ語彙表現の一つであることが本考察によって見られた。
- 一つ一つの色彩表現の言語文化的・認知言語学的要素を考察することはモンゴル語日本語対照比較研究及びモンゴル語話者の日本語教育、日本語話者のモンゴル語教育に重要であり、今後の多方面から研究する余地があるように思われる。

17

### 参考文献

- S.Dulam. 2000. *Mongol belgedelzui 2 Ungiin belgedelzui zug chigiin belgedelzui*. Ulaanbaatar: Bitpress.
- G.Eldev-Ochir. 2009. "Mongol khelnii tsagaan öngö ilerkhiisen ügiin ündesnii sovolyn utaad khiisen aiqlalt." *Antoon Mostaert Mongol Sudlalvn Tüv Oyuuny khelkhee erdem shinjilgeenii bichig №04*, Ulaanbaatar.
- 新村出編 (1981) 『広辞苑』 岩波書店
- 武井邦彦 (1978) 『日本色彩辞典』 笠間書院刊
- 西王燦 (2009) 「短歌における色彩のシンボル性」 <http://www7b.biglobe.ne.jp/~nishiou/hvoron/1/sikisai.htm>
- 福田邦夫 (1999) 『色の名前はどこからきたか』

18

○ ご静聴ありがとうございました。

19